

和合の里振興計画実現に向けた取組みと公民館のコミセン化移行と指定管理者制度受託の必要性

和合の里を創る会事務局長
兼庄内町余目第四公民館長 高橋逸夫

1 はじめに

平成17年7月1日余目町と立川町が合併し、「庄内町」が誕生した。

山形県の日本海側、庄内地方のほぼ中心に位置する町で、湯殿山、羽黒山とともに出羽三山をなす月山の山頂を有する町である。その月山を水源とする平成の名水百選立谷沢川と最上川の流域に広がる庄内町は、庄内平野の中央部から月山の麓まで細長い形をしている。清流が田を潤し、その恩恵を受ける庄内町は、日本一おいしいお米のふる里。コシヒカリやつや姫など、現在の良食味米のルーツとなる「亀ノ尾」発祥の地でもある。

庄内町の中心に位置する和合の里(庄内町立余目第四小学校区)には、宿泊施設を備えた庄内町余目第四公民館と庄内町亀ノ尾の里資料館がある。この2つの施設の指定管理者として和合の里を創る会が管理運営を担っている。



2 指定管理者制度の導入へ

(1) 経緯

平成28年度まで、公民館主事は庄内町の非常勤嘱託職員であり、1日7時間15分勤務の任用であったが、平成29年度からは一般職の非常勤職員として1日6時間勤務に変更されることになった。職員の待遇を守り、かつ勤務時間の減少による住民サービスの低下を防ぐべく、自治会長等と議論を重ね、指定管理者制度導入が進められた。

(2) 指定管理の受託へ

庄内町では、平成18年度末に「指定管理者制度導入に関するガイドライン」を制定し、学区地区公民館を地域コミュニティが担う施設として位置づけ、地域づくり組織の自治組織に委託することが規定された。

住民により構成された地域づくり推進組織に庄内町の「元気の出る地域づくりを応援します交付金」制度が制定されたことから、余目第四公民館では地域が自ら考え、自ら行う住民活動を支援するため公民館運営協議会を組織し、住民の主体的な活動を発展させた事業運営を始め、公民館の運営方針、事業計画及び予算の決定、公民館事業の点検、評価及び決算の審議等を行った。

平成28年度には、自治会長会、公民館運営協議会、地域づくり会議を一本化した「和合の里を創る会」を組織し、指定管理者制度の受託に手をあげる基盤が形成された。平成28年度中に選定が行われ、平成29年度から和合の里を創る会が余目第四公民館に加え、同館に併設されている亀ノ尾の里資料館の指定管理者となった。職員の待遇・勤務条件等含めて、雇用条件を守り、住民主体の事業運営を住民発議で継続し、和

合の里振興計画の策定と地縁団体等の公民館利用料金減免措置等を講じ、住民サービスの向上を図っている。



3 和合の里振興計画と実現に向けた取組み

(1) 策定に向けた経緯

- ① 住民アンケート調査結果から地域の課題や資源等を盛り込んだ地域カルテを策定した。
- ② 地域カルテには、人口及び世帯数、中心産業、資源(歴史資源、観光資源)、コミュニティ活動、公共施設等の内容を盛り込んでいる。また、地域情報誌「和合」に掲載している「6年生のみんなが願う『和合の里の未来像』」や、町が実施した高齢者を支える仕組みづくりのワークショップで明らかになった課題を反映させた。
- ③ 平成30年8月から2か年にわたり、策定委員会全体会、部会(自治・環境福祉・産業振興・教育)において、ワークショップ形式で幾度も話し合いをし、意見の集約を図った。

(2) 実現に向けて

将来像「歴史と文化の薫りただよふ和合の里」

基本目標「安心・安全でみんながつながり 笑顔で暮らす和合の里」

自治部会

分野別目標「ひとり一人が地域に愛着の持てる和合の里」

例)お宝図鑑の発刊、子ども見守り隊への支援、
駐在所だよりの配布協力

環境福祉部会

分野別目標「地域の支え合いで楽しく暮らす和合の里」

例)便利屋わごう、いきいき100歳体操の普及、
樹木選定

産業振興部会

分野別目標「地域資源を活かしてみんながうるおう和合の里」

例)阿部亀治記念 和合の里フォトコンテスト、由右エ門ほうきづくり講習会

教育部会

分野別目標「子どもから高齢者まで共に学ぶ和合の里」

例)和合大学院「悠遊塾」、和合歴史民俗塾、地域情報誌「和合」の発行

青少年育成委員会

例)地域啓発標語の募集、あいさつ運動の推進、放課後子ども教室「わごうの広場」への協力

スポ文化推進委員会

例)町民運動会和合大会、グラウンドゴルフ大会、和合の里秋まつり



4 今後の課題

庄内町公民館のコミュニティセンター移行基本方針(令和3年3月策定)を踏まえ、令和4年度から庄内町余目第四公民館は庄内町余目第四まちづくりセンターに移行する。愛称は地域内から公募し、「和合館」と決定した。老人クラブ会員の減少、ひとり暮らし・高齢者世帯の増加に伴う交通手段の確保等々、支え合いの里づくりや組織強化に向けた取組みにおける課題はあるが、指定管理による地域住民の思いに寄り添ったコミュニティセンターの運営を進めていきたい。